

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてください。

<http://www.tepco.co.jp/kk-np/data/inside/pdf/image1.pdf>

2016年1月4日に不適合管理委員会で確認した不適合事象は、下記のとおりです。

なお、不適合管理委員会で確認した事象の内容から、審議時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 0件

3. G III グレード 6件

NO.	号機等	不適合事象	備考
1	1号機	北側開閉所内電源(A)の故障を示す警報が発生し、No. 3高起動変圧器トランスヤード排水ポンプに絶縁不良を確認した。当該ポンプを点検・修理。	
2	3号機	高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機区域給気冷却加熱器(A)および(B)のドレン配管および配管継ぎ手に錆の発生を確認した。当該配管を点検・修理。	
3	4号機	タービン建屋No. 1天井クレーン電気品の点検時、主巻上装置制御盤および補巻上装置制御盤において、基礎ボルトのない箇所(24箇所中、7箇所)があることを確認した。当該事象の原因を調査し修理。なお、当該制御盤は動いた形跡がないことを確認済み。	
4	6号機	湿分分離加熱器(A)第2段加熱器(A1)加熱蒸気減圧弁と開度検出器の連結部に変形を確認した。当該部を点検・修理。	
5	7号機	所内用圧縮空気系圧縮機(A)吐出空気温度指示スイッチの点検時、スイッチ収納ケースに微小なひび割れを確認した。当該ケースを交換。	
6	その他	免震重要棟にある安全関連パラメータ表示システムにおいて、社内ですら定めた月例動作確認(2015年11月分)を実施していないことを確認した。当該事象の原因を調査。	